

ちょっといい話

花巻まんまーずの特徴



「花巻まんまーず」では、幼稚園や保育園などで食育教室を行う際に、特色ある活動を展開しています。今回は、その一例を紹介します。

☆包丁を使用

野菜は手でちぎるだけでなく、全員が包丁を使って切る体験をします。「ちょっと危ない?」と思うかもしれませんが大丈夫。メンバーが園児一人一人に安全な使い方を教えながら行っています。

☆「おいしくなーれ」

調理の際には必ず「おいしくなーれ」と大きな声で魔法の言葉を食材に話しかけます。みんなで気持ちを込めて作った料理は絶品! 楽しい思い出に残るほか、食材と話す事で好き嫌いもなくなりやすいです。

☆地産地消

全国でも有数の産地である雑穀のほか、地元で採れた旬な野菜などをふんだんに使用しています。地産地消は元気の源! 更に幼い頃から郷土愛を育みます。



料理講習会を開いてみませんか?

「花巻まんまーず」では、幼稚園や保育園での食育教室以外にも、高校での料理講習会や地域の子ども会で実施する親子料理講習会など、さまざまな場で講師を務めています。料理の知恵や生活の知恵を笑顔溢れる元気な母さんたちから教わってみませんか? まずは気軽にお問い合わせください。

■体験料 一人あたり200円

※講師料と材料代込み
※おにぎり・スープ・おかず・デザート、計4品の料金です。
内容によって料金が変動しますので、詳しくはお問い合わせください。

■お問い合わせ・お申込み

企画部組織広報課 ☎0198-29-4011



1. オリジナルエプロンに身を包み、笑顔を見せる母さんたち
2. より良い食育教室に向け、定期的に研修会を開催
3. 自分たちで作った料理を「命」を感じながら味わう園児たち
4. 活動内容が評価され、都市農山漁村交流活性化機構の「平成27年度地産地消優良活動表彰」東北農政局長賞を受賞
5. 地元の食材に拘って作った料理の一例

人 が生きていくうえで必要不可欠な「食べる」という行為。そんな食事や食材の力を、子どもたちを中心に伝えたい母さんたちがいる。それが表紙で可愛らしい野菜やおにぎりの作り物を持ち、笑顔を見せる食育リーダー「花巻まんまーず」だ。

「花巻まんまーず」は、地元産の米と野菜でみんなに元気になってほしいと平成20年に設立した。経験豊富な食育リーダーたちが、食文化の継承や地産地消、地域農業の振興に力を注いでいる。

そんな母さんたちの中心となる活動が、幼稚園や保育園での食育教室だ。園児たちに調理方法や食材について教える傍ら、「食べ物を選ぶ力・味が分かる力・料理ができる力・自分の命を感じる力」の5つの力を育んでいる。「食育。その言葉にたくさんの意味が込められているのが「花巻まんまーず」だ。園児たちを見てみると、友達と助け合いながら料理をしたり、おにぎりを作って達成感を味わったり、地元の旬な食材のおいしさに気付いたり。食材の力を肌で感じ、豊かな心を育み、いつも笑顔が弾けている。齊藤洋美代表(写真1下段中央)は「旬の食材で園児たちが元気になり、帰り際の『ありがとう』の声で私たちはパワーを貰う」と活動の喜びを笑顔で話す。

設立から10年を迎える今年度は、5月から3施設で計8回の活動を予定する。齊藤代表は「10年が経ち、更にステップアップしながら活動を継続していきたい」と意気込む。母さんたちの活動のもう一つのテーマ、「人生は楽しい」のお手本になれるように。いつまでも変わらない元気と笑顔で、これからも子どもたちの心を育んでいく。

“食の力”を伝え続けて10年 食育を通し、子どもたちの豊かな心を育む JA食育リーダー「花巻まんまーず」



【グループデータ】JA管内の食育に精通した30代~70代の女性20人で構成。名称は、ごはんという意味の方言「まんま」やイタリア語で母を表す「マンマ」などから由来している。幼稚園や保育園での食育教室のほか、JAが開設している「わいわい子育てフリースペース」の料理体験などにも協力。「笑顔を見たくて仕事をし、笑顔あげたくて努力する」をモットーに、定期的に研修会を開くほか、「家の光」の記事を活用して勉強を重ねている。

CONTENTS

ぼらーの花巻 ●No.243 / 平成30年(2018)5月号

- 02 ぼらーのCOVER STORIES
- 04 愛農土に生きるII
特集
農家所得増大へ!
JAいわて花巻の生産拡大品目
- 08 ぼらーのNEWS ●地域の話
- 10 あぐりネット
- 12 がんばる青年部 / 知って納得JA
- 13 旬の産直大百科 / ぼらーの広場
- 14 Information ●理事会だより / 監事会だより
- 16 風趣点景 ●管内四季だより / 編集後記